

地産地消型の小さな水素社会構築ワーキンググループ キックオフ会議 次第

日時： 令和7年3月24日(月)

場所： 大熊町産業交流施設「CREVA おおくま」

1. 開会 14:00
2. 挨拶 14:00-14:20
 - 幹事挨拶： OKUMA DRONE 株式会社 代表取締役 李 頌一
 - 福島県商工労働部次世代産業課 課長 加島 優
 - 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 会長 服部 靖弘
 - 来賓挨拶： 大熊町 町長 吉田 淳
3. 基調講演 14:20-15:00
 - 産総研再生可能エネルギー研究センター 副センター長 難波 哲哉 博士
 - 福島県商工労働部次世代産業課 課長 加島 優
4. 会員紹介（敬称略） 15:00-15:10
OKUMA DRONE、ユアサ商事、エノア、キッツ、伊達重機、高圧ガス工業
常磐共同ガス、オールナビクオーツ、エア、スズキ、ブラザー工業、Hamadoori 13
大熊町、浪江町、長崎県、ビジネスゲートウェイ、水素ドローン産業化推進協議会
 - 会員企業挨拶： 社団法人 Hamadoori 13 代表 吉田 学
5. 議題 15:10-15:50
 - ① 本ワーキンググループの目的および事業計画、活動内容について
 - ② 今後のワーキンググループの開催場所、招集方法、各会員の役割について
 - ③ その他（質疑応答）
6. 閉会 計1時間50分
7. 記念写真撮影 15:50-16:00
8. メディアブリーフィング（別室） * 李、服部、小野 16:00-16:15

* テレビ、新聞等メディア取材が入ります。あらかじめご了承くださいませ。

* 「5. 議題」から、メディア関係者は別室ブリーフィングルームにて待機いただきます。

* 別途、会場内で、関係企業などの水素関連製品や技術等のミニ展示会あり。

* 閉会后、会場で懇親会を予定しております。（参加費無料）

小さな水素社会ワーキンググループ参加企業団体のご紹介（順不同）

ユアサ商事株式会社

yuasa.co.jp

1666年創業。日本最古の大手商社。協力企業との連携により、水素技術産業創出の実現を目指す。

高圧ガス工業株式会社

koatsugas.co.jp

1958年創業。日本を代表する、産業用ガスの製造販売会社。国内最大級の水素蓄圧器開発実績。

株式会社エノア

enoah.co.jp

2010年に愛知県豊田市で創業した、燃料電池を含む、さまざまな水素関連製品を扱う専門商社。

株式会社キッツ

kitz.co.jp

1950年創業。世界100カ国以上に製品を提供する、日本を代表する総合バルブメーカー。

ブラザー工業株式会社

brother.co.jp

燃料電池開発や水素パイプラインに挑戦。浪江町、長崎県と地域連携し、水素社会構築を目指す。

スズキ株式会社

suzuki.co.jp

1909年創業。二輪車、小型車、軽自動車のグローバルリーダー企業。インドでの水素事業を検討中。

常磐共同ガス株式会社

jkg-energy.co.jp

総合エネルギー事業会社。いわき市が推進するバッテリーハレー機構の副代表として水素事業を牽引。

オールナビクォーツ株式会社

allnaviquartz.com

石英ガラスを中心に半導体部品などの製造販売を国内外で行う。今後、グリーン水素の活用も視野に。

エア合同会社

eallc.jp

2022年、静岡で創業。水素ドローンや高圧水素供給設備など、最先端水素技術製品の開発を行う。

株式会社伊達重機

datejuki.jp

1985年創業。浜通りで多角化経営。なみえ水素タウン構想と連携。定置式水素ステーション設置運営。

一般社団法人水素ドローン産業化推進協議会

hy-d.jp

2022年、浪江町で設立。国、地域、関連メーカーと連携し、水素燃料ドローンの産業化を目指す組織。

一般社団法人 Hamadoori 13

hamadoori13.or.jp

浜通り全13自治体の職員や地元企業経営者など100名以上の有志が集まる復興プロジェクト。

ビジネスゲートウェイ株式会社

business-gateway.jp

浜通りの新産業、新事業創出、賑わい創出に寄与。インキュベーションセンター等の施設運営も行う。

OKUMA DRONE 株式会社

okumadrone.com

2021 年創業。水素ドローン、小型セル、可搬式小型発電装置、水素製造装置の研究開発を行う。

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会
事業化ワーキンググループ

地産地消型の小さな水素社会構築ワーキンググループ

背景 現在日本の水素社会は、海外での量産および液化しタンカーで輸送し国内の水素ステーションから自動車等への利用が基本的な潮流。一方で、海外依存の脱却や遠隔地方での水素利活用の視点では、エネルギーの地産地消の観点から、分散型の小さな水素社会モデルの推進が期待されている。

活動内容 「分散型の小さな水素エコシステム」の企画、設計、標準化モデルの構築

～ 6つの WG アジェンダ ～

【1】 地域再エネ発電事業会社との連携

⇒ 地域電力会社との連携による水素販売事業の成立を目指す

【2】 小型、安価、高品質な水素製造装置等、技術設備の整備要件定義

⇒ 水素製造装置販売事業の成立を目指す

【3】 高圧ガス事業者との連携手法の検討

商業および住宅エリアへの輸送基準、貯蔵免許、輸送免許、特区や条例検討

⇒ 水素運搬、保管事業の成立を目指す

【4】 水素エネルギーの需給バランスマネジメント

⇒ 水素エネルギーマネジメントソフトウェア事業の成立を目指す

【5】 常用および非常用でのグリーン水素の普及促進活動

⇒水素利活用アプリケーション提案、地域水素利活用ガイドライン、広報ツール

【6】 相双地域、浜通り地域における実証フィールド開発の検討と推進

① 実証フィールドエリアの選定

② 実証内容の確定（つくる、ためる、はこぶ、つかう）

③ 評価項目の策定（上記実証内容ごとの運用、経済合理性等）

④ 実証計画の策定（開発計画、運用計画）

* 隔月開催で年6回を予定しています。後日、開催日時場所等については個別に通知いたします。

* 第2回目以降、対面およびオンライン両面での開催となります。

* ご不明な点は、事務局「info@okumadrone.com 担当:川口」までお問い合わせください。